

東北事業部からの新年のご挨拶

新春を迎え、改めて皆様のご健勝とご繁栄を心よりお喜び申し上げます。

日頃は弊社の事業に大変ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、昨年も引き続き、イラク戦争の後遺症として世界各地でテロ事件が勃発し、日本も自衛隊派遣問題からその標的にされております。

国内の経済におきましては大企業・製造業を中心に改善され景況感も報告されておりますが、全体としてその実感は薄いように思われる。

昨年は異常気象で、特に東北地方においては、春から夏にかけての長雨・冷夏が続き農作物に大きな被害を与えました。

飼料作物についても収量の減少と品質の低下等、農家の皆様にとっては粗飼料確保にご苦労されていることと思います。

また昨年は、4頭の牛がBSEと認められ、国内9例目のBSE感染牛が確認される等で、更に「食の安心・安全」が求められ、国内での飼料生産の拡大及び自給率アップが急務とされております。

国は、平成12年3月「食料・農業・農村基本計画」を閣議決定し、食料自給率を主要品目ごとに定めました。

その中の飼料作物としては、転作田等における飼料作物の作付け拡大、低・未利用地の活用、生産性の向上及び品質の向上、生産の組織化、日本型放牧の普及等の取組を通じ、自給飼料の大幅な増大を図ることとされ、その目標値は次の様に示されております。

	作付面積 (万ha)	収穫量 (万t)	単収 (kg/10a)	飼料 自給率
平成9年	97	394	4,100	25
平成14年	93	373	4,000	25
平成22年	110	508	4,461	35



弊社は、この自給率の向上に寄与すべく日頃より研究を続けており今春の種子の供給（トウモロコシではニューデント・スノーデントの各シリーズ、牧草においてもそれぞれ地域にあった品種について一段とラインナップを充実）にも万全を期し皆様方のお役に立ちたく準備を進めております。

今年も弊社は「健土健民」を創業以来の会社の理念と再認識し、「農業奉公」を社是とし、豊かな農業を育て自然を守る愛される企業を目指し、より研究開発をベースに飼料作物、園芸野菜、配合飼料、微生物等の分野で研鑽を重ね、商品群を揃えお役に立つ所存です。

今後ともご指導ご鞭撻を切にお願い申し上げますながら、皆様の一層のご発展とご健勝をご祈念申し上げます新年のごあいさつといたします。

(東北事業部 取締役部長 内山 幹夫)

雪印種苗株式会社

編集発行人 城座 勝明

本社004-8531札幌市厚別区上野幌1条5丁目1番8号

TEL(011)891-5911

東北事業部

024-0004北上市村崎野14地割174-1

TEL(0197)66-2226

FAX(0197)71-3307